



# はちもり

八峰町立八森小学校

目指す子ども像

- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



校訓：海のように 波のように 岩のように

令和6年11月8日(金) 第27号 文責：安部 晃幸

心を一つに  
みんなが輝いた

テーマ「元気100%で挑戦☆  
笑顔あふれる 八森っ子！」

# 学習発表会



【全校合唱 「いつだって」 「Wish」】



（和太鼓クラブ）

1年「やってみよう!!  
いろんなことにちょうせんだ」



山の中の青虫たちになりきった元気な1年生が、鍵盤ハーモニカや縄跳びなど、いろいろなことに挑戦しました。最後のダンスはかわいさ満開でした。

2年「スイミーと9人のぼうけん!  
～にじいろのみらいへ～」



「スイミー」に登場する海の生物を演じながら、暗唱や縄跳び、マット運動など、自分の得意なものを披露しました。元気な歌声も響き渡りました。

3年「カと心を合わせまSHOW.  
花丸キッズ! 3年生」



3年生15人が協力し合って、お互いのよさを紹介し合ったり、組体操で次々と変化するフォーメーションを披露したりしました。元気さNo.1でした。

4年「10代の出発!  
夢に向かって」



今年10才になった4年生。これまでの10年を振り返り、10年後の自分、大人になった自分、将来の夢について考えたことを発表しました。感動ものでした。

5年「We can ○○  
～わたしたちのできること～」



国語の暗唱や体育のマット運動・縄跳び、宿泊体験学習など、これまでの学びを発表。最後は全員で合奏を披露。息の合った音色が体育館を包み込みました。

6年「歴史にドキドキ★」



歴史の学習で学んだことや歴史上の人物について、動きやダンスを取り入れながら紹介。アイデア満載、個性全開、表現力豊かで、次は何が出てくるのかドキドキで、歴史への興味が増しました。

# 自分の命は自分で守る!!

11月7日(木)  
避難訓練【火災】



火災を想定した避難訓練を行いました。  
今回は、子どもたち自身が判断し、安全に行動することをねらいとして、休み時間に家庭科室から出火した想定で行いました。  
火事発生時の緊急放送を聞いた子どもたちは、自分が居る場所から一番近い非常口がどこか判断し、避難しました。  
イレギュラーな避難訓練に多少戸惑う姿も見られましたが、いつ起きるかわからない災害においては、自分で自分の命を守らなければなりません。いざというとき、正しい判断で正しい行動ができるよう、必要な訓練であると考えます。  
避難後は、八峰消防署員の指導を受けながら、水消火器を使って消火訓練を行いました。実際の火事の状態をよりリアルに体験し、自分の命は自分で守ることを再確認できたようです。

## 漁協訪問・見学



11月6日(水)、本校5年生と峰浜小学校5年生が合同学習として、県漁協北部支所を訪問しました。  
峰浜小5年生との合同学習は、9月に峰浜地区で稲刈り作業を行っており、今回で2回目となります。  
漁港では、最初に水揚げされた魚を見学し、せりの体験をしました。その後、漁港に隣接する冷蔵製氷貯氷施設の冷蔵庫の中や、中間育成施設などを見学しました。  
冷蔵庫の中の気温は、マイナス20度。たくさんの氷が積み上げられていて、驚きました。  
これらの施設をうまく活用して、新鮮な魚を出荷して、少しでも利益を上げるための努力をしていることが分かりました。



## 今週の1枚



10月26日(土)・秋27日(日)の両日、秋季ミニバス大会が本校の児童が構成する八森B・Cも出場しました。  
2試合行い、1勝3敗でしたが、随所強さやポイントから粘り強さを今後に生かしてほしいと思います。

## かけ算九九

「校長先生、5の段を聞いてください。」  
休み時間になると、2年生が職員室の教頭先生のもとや校長室を訪れます。

$$\begin{aligned} 2 \times 2 &= 4 \\ 2 \times 3 &= 6 \\ 2 \times 4 &= 8 \end{aligned}$$



2年生は現在、かけ算九九の学習をしています。それぞれの「九九暗算カード」に、各段を見ないで順番通り正しく言えたら「青シール」を、式を聞かれて答えが言えたら「赤シール」を学級担任から貼ってもらえます。そして、私たちのもとへは、逆九九を正しく言えたときにゲットできる「金シール」を求めてやって来るのです。

少し緊張した面持ちで暗唱しますが、全部言い終え、金シールをもらえたときの笑顔は、とても誇らしげで愛らしいです。

難しい学習も、何か楽しみを見付けて取り組むことで効果が上がるものです。

ただ、九九の暗記は形式的に覚えるのではなく、具体的な場面をイメージしながら「かけ算の意味」を理解することが大事になってきます。そうしないと、数字を量として捉えることが難しくなり、その後の「わりざん」や「正比例・反比例をはじめとする関数、割合などの理解も困難になるそうです。

そう考えると、授業だけでなく、日常生活の中でも、九九が用いられる場面や事象に気付かせ、それらに触れさせることが大事になってくるといえます。

ご家庭でも意識して関わっていただきたいと思います。